

「買うなら岩手のもの運動」キャンペーン運営業務

企画提案審査要領

令和 2 年 5 月
岩 手 県

この「企画提案審査要領」（以下「審査要領」という。）は、岩手県（以下「県」という。）が実施する『買うなら岩手のもの運動』キャンペーン運営業務（以下「本業務」という。）に係る受託候補者を選定するために行う企画提案の審査について、必要な事項を定めるものである。

1 審査機関

- (1) 本業務に係る企画提案の審査は、企画提案選考委員会（以下「委員会」という。）において実施するものとする。
- (2) 委員会は、企画コンペ参加者（以下「参加者」という。）から提出された企画提案書等について、別途定める審査基準に基づき、審査を行うものとする。

2 審査項目、審査観点及び配点

審査項目	審査観点	配点
1 全体		【15】
企画提案の内容全体に関して	ア 事業の趣旨を理解した内容となっているか。 イ 実施スケジュールが無理のないものであるか。 ウ 予算の範囲内で、効率的、効果的な内容となっているか。	15
2 必須事項に関する企画		【60】
(1) 県内テレビ放送によるキャンペーン情報発信番組放送調整	ア 目的とターゲットに応じた効果的な内容で、キャンペーンについての情報発信する企画提案か。 イ 広く取組を紹介する工夫がみられるか。	30
(2) 情報誌等による宣伝・広報	ア 目的とターゲットに応じた効果的な内容で、キャンペーンについての情報発信する企画提案か。 イ 販売拡大に繋げる工夫がみられるか。	30
3 自由提案に関する企画		【10】
事業効果を高めるための方策（自由提案）	ア 必須事項で実施する事業の効果をさらに高めるための独自の提案があり、その内容が優れたものとなっているか。 イ 効果的な内容であるか、実現可能性はあるか。	10
4 業務遂行能力関係		【15】
(1) 業務遂行能力	ア 提案内容を確実に履行できる組織体制であるか。 イ 十分実施可能な提案内容であるか。 エ 権利関係の処理その他関係機関との調整は適切に行われるか。	10
(2) 積算内訳	ア 積算単価や数量は妥当なものであるか。 イ 提案内容と整合性はとれているか。	5

3 審査方法

- (1) 審査は、参加者から提出された企画提案書等での書面審査で行う。
- (2) 委員会の委員は、企画提案書等により、個別の審査項目ごとに評価・評点を行う。
- (3) (2)の評点の合計に基づき、委員ごとに上位3位まで順位点（1位－5点、2位－3点、3位－1点）を付し、それを委員会で合計した総得点により順位をつけて、最高位の1者を県に報告する。
なお、総得点と同点の場合には、高い順位の票を多く得た者を上位者とし、高い順位の票が同数の場合には、委員会において合議の上、総合順位を決定するものとする。
- (4) 参加者が1者のみであった場合にも、委員会において企画提案書等により審査を実施し、本業務を実施するにふさわしいか否かを評価し、その旨を県に報告するものとする。